僕たちはどんなことに取り組めばいんだろう？

小さなことでも何かを始めることが大事だね

５つの基本目標にはそれぞれ施策の柱が、各施策の柱にはそれぞれ取組や施策が設定されています。取組や施策は、町民・事業者・町の３者が主体となって具体的に推進します。

自然環境

動植物の保全

外来種の動植物やペットなどを安易に捨てたりしないようにしましょう

森林の保全

植林や間伐、草刈りなどの林業体験に積極的に参加しましょう

自然とのふれあい

おくたま海沢ふれあい農園運営委員会などに積極的に参画しましょう

生活環境

環境負荷の低減

台所では油を流さないなどの生活排水対策に努めましょう

適正な廃棄物処理

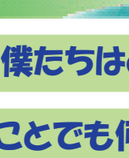
ごみを出す際は分別を徹底し、決められた曜日に出すようにしましょう

適正な生活廃水処理

単独処理浄化槽や汲取便所は下水道及び合併処理浄化槽への転換を推進しましょう

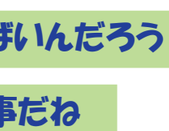
快適環境

歴史・文化資源の保全



郷土芸能団体が維持できるよう、児童・生徒による演奏体験の実施などにより後継者を育成し、その継承を図りましょう

地域環境の改善



野良猫を地域の問題として捉え、不妊手術を行ったうえで共同管理する地域猫への餌やりマナーや管理活動に取り組みましょう

地球環境

地球温暖化対策の推進

家電・商品の購入においては省エネ家電・省エネ商品、自家用車の購入においてはハイブリッド車や電気自動車等の次世代自動車の導入を促進しましょう

再生可能エネルギーの活用

太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入を推進しましょう

環境保全活動

環境保全活動の推進

毎年５月30日に行われる「ごみゼロの日」の一斉清掃など、自治会等が地域で行っている環境保全活動や環境イベントに積極的に参加しましょう

環境学習の推進

地域や学校での機会を活用して環境学習に取り組み、環境に関する知識や意識の向上に努めましょう

第２次奥多摩町環境基本計画（概要版）
令和6（2024）年3月
奥多摩町　環境整備課
〒198-0212 東京都西多摩郡奥多摩町氷川215-6
電話:0428-83-2111（代表）

第２次奥多摩町環境基本計画
＜概要版＞

奥多摩町
OKUTAMA TOWN

計画委策定の趣旨

東京都西多摩郡奥多摩町は、東京都の北西端に位置し、全域が秩父多摩甲斐国立公園に含まれ、東京の奥庭として親しまれています。奥多摩町の豊かな森林には巨木が多く、滝も随所に見られ、森林セラピー基地に認定され多くの観光客や登山者が訪れています。また、山村文化の伝承と生活様式が今でも保存され、郷土芸能の宝庫といわれています。私たちは、この豊かな自然と、その自然からの恵みを受けた良好な生活環境を将来の世代に継承する責務があります。

一方、近年の環境をとりまく社会情勢は、かつてないほど激動しています。平成27（2015）年の国連サミットでは国際目標「SDGs」（持続可能な開発目標）が採択され、同年に開催されたCOP21ではパリ協定が採択され、脱炭素の流れは世界の潮流になっています。わが国でも2050年に向けた「カーボンニュートラル」や「カーボンゼロシティ」が提唱され、様々な取組が進められています。

このような中、水と緑の豊かな自然環境の保全、公害問題やごみ処理などの身近な生活環境の保全、空家問題などの快適環境の保全から地球温暖化などの地球規模での課題まで、町民一人ひとりの取組が重要となってきています。本計画は、これらの社会動向や奥多摩町の環境の現状を踏まえ、環境の立場から今後あるべき奥多摩町の姿とその基本目標を明らかにするとともに、その実現のための施策や取組を検討し、それらを今後の環境行政の基本となる「第2次奥多摩町環境基本計画」としてとりまとめるものです。

この冊子は概要版です。本計画書は奥多摩町のホームページまたは環境整備課で閲覧できます。

奥多摩町の新しい環境基本計画ができたんだって

へ〜ぇ。でも環境基本計画ってなに？

奥多摩町では、平成25（2013）年に「奥多摩町環境基本条例」を制定し、翌平成26年に本条例で位置づけられた「奥多摩町環境基本計画」を策定しました。この計画は、平成35年度（令和5年度）に終了するため、新たに改定計画を策定しました。

環境基本計画は、環境の立場から本町の目指すべき環境の将来像を定め、本町で生活や活動を行う人々が環境保全に関連する行動を進める際の基本的な方向を示し、町民・事業者・町がそれぞれの役割を果たして協力しながら実行するための方策を示すものです。

近年では、環境を取り巻く社会の動きは、地球環境問題やエネルギー問題、持続可能な社会を目指す「SDGs」への取組など、大きく変化しています。本町においても、このような動きを反映して、自然環境保全や資源循環型社会、再生可能エネルギーなどへの対応が求められています。

奥多摩のまちの環境は、今、どんな課題があるの？

いろいろな課題があるよ。でも、自慢できるものもあるよ

本町では、「奥多摩町まちづくり住民アンケート調査」や「第5次奥多摩町長期総合計画」策定にあたってアンケート調査を行っています。これらのアンケート調査や役場に寄せられた苦情、環境基本計画策定にあたっての基礎調査等からは、町の環境について様々な課題があることが改めてわかってきました。その一方で、本町には町民の皆様が誇りに思っているものも多くあることがわかりました。

環境の課題

森林は本町の大きな財産ですが、林業従事者の高齢化等のため、間伐などの森林の適正な管理が難しくなってきています。また、ニホンジカによる森林被害も見られます。

ごみの不法投棄や野焼きなどのごみに関するマナー違反のほか、空家や野良猫が多くの地域で問題になっています。

本町では、木質バイオマスをはじめ、太陽光発電や小型水力発電などの再生可能エネルギーに恵まれているにもかかわらず、そのほとんどが利用されていません。

奥多摩町が誇れるもの

町全体が秩父多摩甲斐国立公園に指定され、千本を超える巨樹を有する森林が町域の94%を占め、奥多摩湖（小河内貯水池）や多くの渓谷や滝、日原鍾乳洞など、本町には多くの自然資源があります。

このような自然資源を活用してセラピーロードが整備され、登山やキャンプ、渓流釣りなど自然とのふれあいを求めて、本町には年間200万人以上の観光客が訪れます。

町民は、「自然とともに歩むまちづくり」に最も満足度を感じています。また、町民が望む町の姿は、「空気や水がきれいで、豊かな自然環境が守られているまち」です。

町の環境をよりよいものにしていくためには、町民・事業者・町が協働してこれらの課題に対応するとともに、地域が誇れるすぐれたものを守り伝えていくことが必要です。本計画では、そのための指針と具体的な取組・施策を明らかにしています。

いったいどんなまちを目指しているのかなぁ？

住みやすいまちになるといいね

目指す環境の将来像とは、本町の環境について「こうあってほしい」と思い描くまちの将来の姿です。この環境の将来像を実現していくために、5つの基本目標を設定しました。

環境の将来像

1. 自然環境の目標　豊かな自然を守る

奥多摩町は、多摩川をはじめとする川や滝、森林や生き物などの豊かな自然を大きな財産とし、人と自然が共生するまちをめざします。

2. 生活環境の目標　環境にやさしい暮らしをする

奥多摩町は、河川や渓流、湖の水や空気がきれいで公害がなく、町民の安全・安心を守るまちをめざします。

3. 快適環境の目標　きれいな環境を守る

奥多摩町は、住む人も訪れる人もともに気持ちの良い、きれいでうるおいと安らぎのあるまちをめざします。

4. 地球環境の目標　かけがえのない地球を守る

奥多磨町は全ての町民が地球環境保全を自らの問題として認識し、一人ひとりの生活からそれを実践していくまちをめざします。

5. 環境保全活動の目標　環境について考え行動する

奥多摩町は、環境の将来像を実現していくため、町、町民、事業者が各自意識啓発を図り、連携して環境保全に取り組むまちをめざします。